



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	編集後記
Author(s)	種村, 剛; 池田, 貴子
Citation	科学技術コミュニケーション, 30, 45
Issue Date	2022-03
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/84318
Type	other
File Information	JJSC30_045_Editor'sPostscript.pdf



科学技術コミュニケーション 第30号 編集後記

JJSC30号が完成しました。本号は報告2報、ノート1報を採録しました。福島啓友氏らによる「科学技術コミュニケーションのシティズンシップ教育への応用」は科学技術コミュニケーションを目的として制作した映像コンテンツを、高校の授業で用いた実践に関する報告です。棚橋沙由理氏らによる「オブジェクト介在型学習による分野横断型学習と科学技術コミュニケーション」は大学博物館における、科学技術コミュニケーション活動の事例を紹介しています。三島美佐子氏らによる「福岡県におけるサイエンスカフェの実践記録分析」は、サイエンスカフェの実施継続性に係る要因を、具体的なフィールドを対象として調査・分析した報告です。これらの論考は、冊子が完成する前の2022年1月に先行pdf公開を行いました。JJSCは引き続き冊子も印刷していきませんが、長期的にはオンラインを中心としたジャーナルに移行していく予定です。

JJSCは、編集方針などを改善していくために、外部の識者からご意見をいただく、アドバイザー制度を導入しています。27号から本号までは、加納 圭氏（滋賀大学 教育学部 教授）と竹田宜人氏（北海道大学 大学院工学研究院 客員教授）にアドバイザーを務めていただきました。お二人からは、掲載した論考や編集方針について、足掛け2年間にわたり、毎号丁寧なコメントをいただきました。本当にありがとうございました。

これまでアドバイザーからご指摘を受けていた、論文・報告・ノートの種別の位置づけについては、31号より編集方針および査読基準を改正し、種別の違いを明確化するように準備を進めているところです。

JJSCは投稿を365日受け付けています。皆様のオリジナルな考察や実践が記された原稿をお待ちしています。

種村 剛（編集長）

本号は、学習と対話の場におけるコロナ禍の前と後の世界を読み比べることができる面白いラインナップとなりました。すっかりこの世界に慣れてしまった今となつては、対面でのサイエンスカフェがすでに遠い昔のこのように、懐かしくも感じます。

現代においては有形物だけでなく、デジタル空間や仮想、そして無形のものもオブジェクト介在型学習の対象に入るといいますが、五感を刺激するという点では実物にまさるものはありません。博物館や科学館は、感染症拡大への懸念から長らく、実物による体験価値の提供という最も重要な機能を発揮できない状態が続きました。私自身も、出前授業や市民向けの講演などのアウトリーチの場では野生動物の骨格標本や毛皮などを持ち込み、実際に触れてもらうことで、来場者の学びや感動の深さが大きく変わることを実感してきました。今となつては、これまでは当たり前だった同じ時間・空間を共有することができる「場」というものがいかに重要であったか、改めて感じているところです。

しかし、こうした「集まる」「触れ合う」「近づいて言葉を交わす」といった体験価値が全て封印されてしまったのをきっかけに、私達はオンラインならではのコミュニケーションの可能性にも気づくことができました。コロナ禍がいつか過ぎ去った後も、コミュニケーション手段がすっかり元通りに戻ることはないだろう、とはよく言われることです。オンラインとリアルでの対話をうまく使い分けながら、新たなコミュニケーションスタイルを構築するための、今は過渡期なのだろうと感じます。

いま窓の外は吹雪ですが、こんな時にも悪天候なりの楽しい過ごし方がありますし、春になったら本物の桜を見に行こうという楽しみがあります。季節を楽しむように、今しかできないコミュニケーションの在り方を思案しているところです。

池田 貴子（副編集長）

編集委員会委員

池田 貴子(副編集長) 奥本 素子 川本 思心 工藤 充
小林 良彦 杉浦真由美 種村 剛(編集長) 朴 炫貞
古澤 輝由

編集委員会補佐

梶井 宏樹 原 健一

アドバイザー

加納 圭 滋賀大学 教育学部 教授
竹田 宜人 北海道大学 大学院工学研究院 客員教授

本誌は、北海道大学学術成果コレクション (<https://eprints.lib.hokudai.ac.jp/>) に登録されています。このURLにより、オンライン版を無料で読むことができます。元の原稿においてカラーで作成された図表類は、オンライン版ではカラーのまま掲載しています。投稿規定や執筆要領は、本誌のウェブサイト (<http://costep.open-ed.hokudai.ac.jp/jjsc/>) に掲載しています。

『科学技術コミュニケーション』第30号

Japanese Journal of Science Communication, No. 30

2022年3月発行

編 者 『科学技術コミュニケーション』編集委員会
<http://costep.open-ed.hokudai.ac.jp/jjsc/>
<https://www.facebook.com/jjsc.jp/>

発 行 者 北海道大学 高等教育推進機構 オープンエデュケーションセンター
科学技術コミュニケーション教育研究部門 (CoSTEP)
060-0817 札幌市北区北17条西8丁目
<http://costep.open-ed.hokudai.ac.jp/>

ISSN 1881-8390
